

ぎふ地域の絆づくり 支援センターだより

地域で活発な活動団体を紹介します！



第7号
平成28年1月発行

清流の国ぎふ

岐阜県環境生活部環境生活政策課
地域コミュニティ室
ぎふ地域の絆づくり支援センター
〒500-8570
岐阜市藪田南2-1-1 (県庁6階)
電話 058-272-8199



⑬ 美濃加茂市古井地区多文化共生推進座談会

事務局：〒505-8606 美濃加茂市太田町3431-1
美濃加茂市役所内
座長：渡辺 勝則

地区の概要

美濃加茂市の全住民に対する外国人の構成比率は約7.3%と高い(総人口55,762人、外国人4,089人)。中でも古井地区は約11%と市内で最も高い地区である(平成27年12月1日現在)。この古井地区を中心に、住民が主体となって、外国人とともに暮らす住みやすい地域づくりを推進している。

主な特色

活動報告会の様子

●外国人と互いに顔の見える関係をつくり、住みやすい地域づくりを推進

平成20年度に美濃加茂市で「第1次美濃加茂市多文化共生推進プラン」が制定されたことを契機に、地域に住む外国人と顔の見える関係を築くことを目的として、地区の自治会や民生児童委員協議会などの地域団体と外国人の団体らに呼びかけ、多文化共生について話し合う「座談会」を、美濃加茂市の企画のもと住民主体で発足させた。

まず、日本人と外国人が、互いに思っていることを率直に意見交換し、課題を整理することから始めた。浮き上がった課題を解決するため、具体的にどのような活動をしていくかを座談会メンバーの各団体が企画して実践している。座談会の構成団体と主な活動内容は次のとおり。民生児童委員協議会(就学援助の相談等)、体育振興会(スポーツ行事を通じた交流)、川合西3号自警団(外国人と共に防災・防犯活動)、外国人の母親代表・小学校のPTA(保護者同士の交流)、NPO法人ブラジル友の会(ポルトガル語教室)、美濃加茂華友会(中国語情報誌の発行)、NPO法人美濃加茂国際交流協会(日本語教室)、多文化共生アグリ交流グループ(ブラジル野菜の栽培)、田畑東自治会(住民同士の交流会)。

●活動報告会での交流を通じ、今後の活動に向けた課題を共有し意見を交換

毎年1回、座談会メンバーの各団体が年間の活動実績と、活動を進めるうえでの苦労話や今後の活動展開について発表し合い、意見交換を行っている。ワークショップでは、会員が複数のグループに分かれ、「自治会」「学校教育」など、さまざまなテーマで話し合い、各グループとしての意見を発表し、共に考え、今後の活動に活かすためのヒントを取り入れている。参加者からは、「座談会の活動を継続し、もっと多くの市民に知ってもらい、多文化共生への理解を広げていきたい。」「地域の外国人に配慮した取り組みを進めることで日本人にとっても暮らしやすい地域になる。」などの意見があった。



ポイント 外国人とお互いに顔の見える関係をつくり、共に歩み寄って、住みよいまちづくりを推進

地域の多くの団体が交流できるこの座談会を通じて、外国人とお互いに顔の見える関係が築かれ、住民同士が率直に意見を交換できている。各団体の取組を情報共有し、今後のそれぞれの活動に活かすことにより、多様な人々をつないで社会参加を促し地域力を高めている。国の習慣や価値観等の違いを理解し、お互いが歩み寄って一緒に暮らしていくという意識の醸成が進んでいる。

今後の展望

古井地区の座談会の取り組みをモデルに、市全体ひいては県全体に、多文化共生の地域づくりが広がっていくことが期待されている。座談会座長の渡辺さんによると、多文化共生社会の推進には、地域におけるキーパーソンの育成が大切なポイントであるとのこと。座談会の活動を通じて人材を育成し、最終的には、多文化共生という言葉がなくしていこうとスローガンを掲げ、日々活動に取り組んでいる。